

平成27年度 教育行政方針 (要旨)

平成27年第2回置戸町議会定例会において、平野毅教育長が示した教育委員会の所管事項に関する主要な方針についてお知らせします。



学 校 教 育

日 常生活の取り組みとして登下校時の「歩く」距離の確保など基礎体力の向上に向けできるところから取り組みます。

小学校では、教育のICT化の一つとして電子黒板の導入を図ります。また、教科書改訂に伴う義務教育教材・教師用指導書の整備を図ります。

中学校では、昨年導入した電子黒板に対応したデジタル教科書を整備するとともに、行事用テントの更新、外物置および国旗掲揚台の改修を行い教育環境の充実を図ります。

特別支援教育については、小学校に特別支援教育支援員を1名増員し、小学校4名、中学校1名体制とし、さらにきめ細かな支援に努めます。

また、特別支援学級等へ就学している児童生徒の経済的負担軽減のため特別支援教育就学奨励費を導入します。

国際化への対応ですが、引き続き英語指導助手を配置し、コミュニケーション能力の育成や文化の違いについて体験的に理解が深められるよう外国語教育の充実を図ります。

置戸高等学校への支援については、置戸高等学校支援対策協議会を窓口として、福祉教科準教科書支援、バス通学費・寮費の一部支援など各種支援を行うほか、希望者に対し学校給食の提供を継続します。また、平成28年度入学生からの適用を目指して、給付型奨学金「福祉の夢」サポート事業の導入に向けた取り組みを進めます。

社 会 教 育

ま ちづくりを担う人づくりと地域課題を地域の人が自主的に解決するための学習を組織化することを基本として策定しました第10次社会教育5カ年計画の初年度にあたり、これらの目標を柱に各重点目標並びに推進項目に沿って事業を推進します。

開町100周年記念事業として、入植時の苦労や人間ばん馬誕生のエピソードなどを劇化し、さらに歌や踊り、映像資料による置戸の歴史を振り返る町民構成劇「おけと100年ものがたり」を多くの町民参加のもとで上演いたします。

地域づくりの拠点となる公民館活動では、引き続き地域活性化事業を推進し、地域が主体となって地域課題の解決に取り組む体制づくりと、あわせて様々な社会教育の活動で地域を支えている社会教育関係団体のリーダー育成を主眼としながら、時代に適した活動を推進できるよう支援を続けます。



境野地区新春書き初め大会の様子(平成27年1月)

4年目となる「食のまちづくり」推進事業については、3年間で積み上げてきた食育の普及、地産地